



身延清稜小だより



NO. 8

R1. 12. 19

校長 笠井安秀

<学校教育目標>

「進んで学び やさしい心を持ち 心身ともにたくましい児童の育成」

たくさんのことを学んだ

2学期が終わります

9月は、運動会に向けて全校児童が精一杯がんばりました。10・11月は、たくさんの方々に学校に来ていただいたり、子どもたちが地域に出かけたりしてたくさんのことを学んできました。12月は、2学期のまとめや1月の書きぞめ大会に向けた取組も始まりました。保護者の皆様や地域の皆様のご協力により、落ち着いた学びができた2学期になりました。ありがとうございました。

24日（火）からは、冬期休業になります。年末年始を挟んでの15日間は、学校を離れた生活になります。家庭・地域の一員として学校に登校する日にはできないこともたくさん経験してきて欲しいと思います。



狂言教室 6年生



大豆の収穫 3年生



金曜集会 1年生発表



金曜集会 4年生発表



金曜集会 2年生発表



望月法子先生、笠井正邦先生の書写指導



ルール=約束は それを 守る子を ほめるためにある

先日、特別支援学級設置学校長会関東地区研究協議会の講演で聞いた話です。

子どもたちのいいところを応援することが、子どもたちの心の成長や心の安定にとって、とても大事なことだそうです。

子どもたちを ほめるために 約束する！

「～しない」「～してはいけない」という約束は、守ることが難しいので、ほめることが難しくなります。だから、まず、子どもをほめることができる「できること」「できそうなこと」を約束しましょう。そして、「できたらほめましょう。」「がんばっていたらほめましょう。」というお話でした。

2学期。あいさつする声が大きくなってきた子どもたちがたくさんいました。一生懸命掃除する子どもたちの姿をたくさん見ました。いつも真剣に授業に向き合っています。……

子どもたちの「できたこと」「がんばっていること」をたくさん見つけていきたいと思えます。みんなで子どもたちのいいところをたくさん見つけて、声をかけていけたらいいなと思っています。



ぶっくん座 おはなし会

11月14日、今年も読書週間に合わせて町の読み聞かせサークル「ぶっくん座」の皆さんがおはなし会を開いてくれました。聞いたことのあるお話もないお話もそれぞれいろんな形で紹介してくれました。子どもたちの本の世界が広がりました。



英語の授業研究会を行いました

来年度から、全国の5・6年生で英語が週2時間の教科としてスタートします。身延町の小学校ではすでに今年度から週2時間の英語の時間がスタートしています。その英語の授業のあり方について身延町の小中学校の先生方に本校の5年生の授業を参観していただく中で11月18日に研究会を開催しました。

